科目ナンバリング	U-LAS03 10001 SB48						
授業科目名<英訳>	外国文献研究（全・英）-E1 ：アメリカの映像文化 Readings in Humanities and Social Sciences (All Faculties, English)-E1 :American Film and Visual Culture			担当者所属職名・氏名	人間・環境学研究科 教授　木下　千花		
群	人文・社会科学科目群	分野(分類)	外国文献研究			使用言語	日本語
旧群	C群	単位数	2単位	週コマ数	1コマ	授業形態	演習（対面授業科目）
開講年度・開講期	2026・前期	曜時限	火3	配当学年	２回生以上	対象学生	全学向

[授業の概要・目的]

David Bordwell, Kristin Thompson, and Jeff Smith, Film Art: An Introduction (New York: McGraw Hill)**は、映画研究入門の最良の教科書として高い評価を維持し、12版を重ねている。本書は日本語をはじめとした各国語に翻訳されているが、アメリカの大学生をターゲットとしているため、ハリウッド映画についての関心と初歩的な知識を前提としつつ外国の名作映画を積極的に紹介するという方針をとっており、「アメリカの映画文化入門」という側面も持つ。本授業では、**Film Art**を教科書として、１）映画を中心とした映像作品をよりよく「見る」「聴く」ための技法を学び、映像作品の形式を論じる上で必須のテクニカルな概念・用語を英語で習得するとともに、２）「アメリカの大学生なら誰でも知っている」と考えられる映画作品や文化的背景について学ぶ。具体的には、まずアメリカ映画１作品を鑑賞し、その作品を基本的な題材として、Film Artの映画美学・技法についての章を読み進め、映像クリップを使った解説と講義、ディスカッションを通して、英語表現と映像文化についての理解を深める。学期末には1-2分の映像クリップのshot by shot analysisに演習形式で取り組んで提出し、形式分析と有機的に結びついた作品論を最終課題とする。**

[到達目標]

・アメリカの大学生を対象として書かれた英語をある程度まとまった量読むことで、和訳せず英語として理解する力を身につける。
・１本の映画作品を実際に鑑賞し、映画という視聴覚芸術に対するリテラシーを育む。
・映像クリップ分析の概念と技法を、英語文献を通じて習得する。
・映画をはじめとした物語映像作品に対する様々なアプローチを学ぶ。
・アメリカの映画文化について基本的な知識を習得する。
・その結果、より充実した映画体験を獲得する。

[授業計画と内容]

・英語圏の大学の一般教養科目で読む程度の英語に触れ、理解力を培う。
授業計画は以下の通り。
＜Part 1: Introduction＞
第1回 自己紹介、教科書および授業の進め方の説明
第2-3回 chap. 1 Film as Art: Creativity, Technology, and Business
＜Part 2: Narrative Structure＞
第4回 映画鑑賞
第5回 chap. 2 The Significance of Film Form
第6回 chap. 3 Narrative Form
＜Part 3: Film Style＞
第7回 chap. 4 The Shot: Mise-en-Scene
第 8回 chap. 5 The Shot: Cinematography
第 9回 chap. 6 The Relation of Shot to Shot: Editing

外国文献研究（全・英）-E1 ：アメリカの映像文化(2)へ続く↓↓↓

第10回 chap. 7 Sound in the Cinema
第11回 chap. 8 Summary: Style and Film Form
＜Part 4: Film Analysis and Criticism＞
第12回 Shot by Shot Analysis 演習
第 13回 chap. 11 Film Criticism: Sample Analysis, excerpt
第14回 レポート案ディスカッション
第15回 レポート試験
第16回 フィードバック
・履修者は、毎回上記の指定部分を読んで予習してくること(「授業外学習」参照)。
・授業中は積極的に授業に参加すること。

[履修要件]

特になし

[成績評価の方法・観点]

5回以上欠席した者は単位認定の対象としない。
授業への積極的な参加: 20%
課題（鑑賞ノート提出、Shot-by-shot analysis、作品論テーマ案提出）: 40%
レポート試験（作品論）: 40%

[教科書]

David Bordwell and Kristin Thompson 『Film Art: An Introduction』（McGraw Hill Higher Education）ISBN:1259253317

[参考書等]

（参考書）
デヴィッド・ボードウェル、クリスティン・トンプソン 『フィルム・アート -映画芸術入門』（名古屋大学出版会）ISBN:4815805679

[授業外学修（予習・復習）等]

・毎週、範囲(20-30ページ程度)を読む。なお、本書は映画研究の教科書であり、内容の把握が最重要の課題なので、読解にあたって翻訳の助けをかりてもかまわないが、講義・演習は英語版をもとに行い、英語表現などについても解説する。
・わからない専門用語や固有名があれば、まずは教科書のGlossary（用語集）で確認し、さらにインターネットを英語で検索してみる。検索の方法や推奨するウェブのデータベースなどについては第１回授業で紹介する。
・教科書に出てくる作品をはじめ、多くの映画を授業外で見ることを勧めるが、単位を取るための必須要件ではない。

[その他（オフィスアワー等）]

・教科書の入手方法については第１週の授業で説明するので、その時点で購入している必要はない。

・予習、授業、連絡のためLMSを使用する。LMSをどうしても使用できない事情がある履修者は、相談すること。
・LMSからの連絡は大学メールアドレスに届くので、転送設定を行うなどして、大学のメールアカウントには常にアクセスできるようにすること。
・授業の進め方や単位認定の方針についても詳しく説明するので、第１回授業には出席すること。

外国文献研究（全・英）-E1 ：アメリカの映像文化(3)へ続く↓↓↓

外国文献研究（全・英）-E1 ：アメリカの映像文化(3)

[主要授業科目（学部・学科名）]